



第9回

成人吃音臨床研修会 in 山梨

専門家の知識と当事者の体験から学ぶ基礎・評価・訓練・支援

日時 11月11日（日）

10:30～16:30（10:00開場）

講師 北條具仁（国立障害者リハビリテーションセンター病院）
横井秀明（さくら吃音相談室）

●会場

山梨県地場産業センター かいてらす 大会議室（西）

●受講料

言語聴覚士 5,000円
学 生 1,500円

●定員 30名

現職の言語聴覚士と養成課程に通う学生が主な対象ですが、それ以外の方でも、ご希望の場合はお問い合わせください。



主催 NPO法人全国言友会連絡協議会

後援 （一社）日本言語聴覚士協会、（一社）山梨県言語聴覚士会
日本吃音・流暢性障害学会

問い合わせ MAIL: info@zengenren.org FAX: 03-3942-9438

この事業の実施にあたり、公益財団法人キリン財団の「キリン・福祉のちから開拓事業」から助成を受けています。

プログラム

10:30-12:00	吃音の基礎知識	講師：横井秀明
12:00-13:00	休憩	
13:00-15:00	吃音の評価・訓練・支援	講師：北條具仁
15:00-15:30	休憩	
15:30-16:00	体験発表	吃音当事者によるメッセージ。
16:00-16:30	グループワーク	症例検討を予定しています。

講師紹介

北條具仁（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

言語聴覚士。2003年に日本福祉教育専門学校言語聴覚学科を卒業し、リハビリ病院などで成人の失語症や高次脳機能障害を中心として臨床に携わる。2012年から現在まで、国立障害者リハビリテーションセンター病院に勤務。主に中高生以降の吃音の臨床と研究に従事している。日本吃音・流暢性障害学会広報委員長。

横井秀明（さくら吃音相談室）

言語聴覚士。関西学院大学大学院法学研究科博士前期課程修了。在学中に国家公務員Ⅰ種職員採用試験合格。政府系金融機関勤務を経て、日本福祉大学中央福祉専門学校言語聴覚士科卒業。リハビリ専門病院などに勤務し、現在は名古屋市で「さくら吃音相談室」を主宰。日本吃音・流暢性障害学会監事。

言友会とは

吃音のある人のセルフヘルプグループ（自助団体）として、1966年に東京で発足しました。吃音体験を分かち合う「例会」を中心として、会報の発行や吃音に対する理解を求めするための企画などの取り組みを通して、会員それぞれが「吃音があっても豊かに生きる」ための方法を見つけるべく、活動を続けています。

申し込み方法

①お名前、②連絡先、③お立場（現職の言語聴覚士や学生など）、④所属先、⑤吃音臨床経験の有無（担当件数など）、⑥この研修会をどのように知ったかをご明記いただき、メールアドレス（info@zengenren.org）かFAX番号（03-3942-9438）宛てにお送りください。